

令和8年度新型コロナワクチン接種のお知らせ

【下記の文章をよく読み、理解してから、体調のよいときに接種してください】

この予防接種は、ご本人が接種を希望する場合に限り、接種することができます。

接種を受ける義務はなく、接種を希望されない方は、原則として予防接種をする必要はありません。

■実施期間

令和8（2026）年10月1日（木）から令和9（2027）年3月31日（水）まで

■対象になる方

- ① 接種日現在、足立区に住民登録のある**65歳以上の方**
- ② 接種日現在、足立区に住民登録のある**60歳以上65歳未満**で心臓、腎臓、呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいのある方（身体障害者手帳1級相当）
- ※ **60歳・65歳のお誕生日を迎える方は**、誕生日の前日から予防接種法に基づく接種ができます。それより前に接種を希望される方は、別紙をご確認ください。

■接種費用

無料（期間中1回のみ）

- ※ 16,000円相当のワクチンです。
- ※ 2回目以降は、有料（16,000円相当）となりますのでご注意ください。

■接種場所

区内の指定医療機関（別紙の名簿をご覧ください）

- ※ 東京23区内の指定医療機関でも接種が可能です。
- ※ 59歳、64歳の方が接種できるのは、足立区内の指定医療機関に限られます。
- ※ 医療機関によって、ワクチンの種類、開始時期、曜日・時間、予約の有無などが異なります。年度の途中で変更がある場合があるため、必ず事前に医療機関へご確認ください。

■接種方法

当日、予診票の太枠内を記入し、医療機関へお持ちください。

- ※ 対象年齢（60歳または65歳）になるのを待たずに接種する場合は、別紙「10月2日現在59歳または64歳の方へ」を必ずお持ちください。
- ※ この予防接種は義務ではありません。本人が希望する場合のみ行います。
- ※ ご自身で署名が難しい場合は、ご家族やかかりつけ医が本人の意思を慎重に確認した上で決定します。確認できない場合は接種できません。

新型コロナウイルス感染症とは？

(1)どうやって感染する？

感染した人の咳やくしゃみ、話し声などで空気中のウイルスを吸い込むことで感染します。

(2)主な症状は？

熱、のどの痛み、咳などです。

感染を防ぐためのポイント

感染を防ぐために、普段から**十分な食事と睡眠**をとり、体調を整えておきましょう。流行しているときは**人ごみを避け、こまめな手洗い・消毒・お部屋の換気**を心がけてください。

予防接種を受ける前に

(1)受ける前の心がけ

- ① 納得してから受けましょう
ワクチンの効果や副反応（お薬の反応）を理解した上で受けましょう。不安なことがあれば、事前に医師にご相談ください。納得できない場合は、無理に受ける必要はありません。
- ② 予診票は正しく書きましょう
予診票は、医師が安全に接種できるかを判断する大切な書類です。ご自身の健康状態を正しく記入してください。

裏面へ続く

(2) 予防接種を受けることができない人

- ① 明らかに発熱のある人（通常、37.5℃を超える場合）
- ② 重い急性疾患にかかっている人
急性の病気で薬を飲む必要がある人は、その後の病気の変化がわからなくなる可能性があるため、その日は接種を見合わせるのが原則です。
- ③ ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなど重度の過敏症の既往歴のある人
アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状になったことがある人
- ④ その他、医師が不適当な状態と判断した場合

(3) 予防接種を受ける際に、担当医と相談しなくてはならない人

- ① 凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障がいのある人
- ② 過去に免疫不全の診断がなされている人及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ③ 心臓や血管、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障がいなど基礎疾患のある人
- ④ 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がみられた人
- ⑤ 過去にけいれんを起こしたことがある人
- ⑥ 本ワクチンの成分に対して、アレルギーを起こすおそれがある人

(4) 新型コロナワクチンと他のワクチンとの接種間隔

新型コロナワクチンと他のワクチン（インフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチン等）との同時接種は医師が特に必要と認めた場合に可能です。また、他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

接種後の注意

- ① 予防接種を受けた後30分間は急な副反応が起こることがあります。医師（医療機関）とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。
- ② 注射した部分は清潔に保ってください。接種当日の入浴に特別な問題はありませんが、注射した部位はこすらないようにしてください。
- ③ 接種当日の激しい運動や多量の飲酒は控えてください。

予防接種の副反応

ワクチンを接種した後は、接種部位の痛みや、倦怠感、発熱、頭痛や関節痛などが生じることがありますが、通常数日以内のうちに治ります。それらの症状がひどかったり、長引いたりする時は、医師（医療機関）の診察を受けてください。

また、予防接種の副反応について被接種者本人や保護者も「予防接種後に発生した症状に関する報告書」により区へ報告が可能です。

予防接種健康被害救済制度について

この予防接種の副反応により生活に支障が出るような障がいを残すなどの健康被害を受けた場合、定期接種であれば予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）を、任意接種であれば独立行政法人医薬品医療機器総合機構法により救済を受けることができる場合があります。

◆ 問い合わせ先 ◆

お問い合わせコールあだち 3880-0039

午前8時～午後8時まで（1月1日～3日を除く毎日）

問合せ先 足立区 衛生部 保健予防課 予防接種係 TEL 3880-5094